

第142回

日本循環器学会東北地方会

参加者数 : 123名

演題数 : 55

第142回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会 期：平成18年6月10日(土)午前9：00より

会 場：岩手医科大学附属循環器医療センター
(創立60周年記念館 9F)

盛岡市中央通1-2-1

TEL (019) 651-5111

第1会場：9F 講義室2

第2会場：9F 講義室1

会 長 伊藤 宏

事務局：秋田大学医学部内科学講座
循環器内科学分野・呼吸器内科学分野
秋田市本道1-1-1

TEL：(018) 884-6110

- 一般演題：発表時間は5分(予鈴4分)、追加討論2分とします。時間厳守をお願いします。
コンピューター・プレゼンテーションによる発表のみとします。Windows2000
あるいはXP及びPowerPoint2000、2002、2003がインストールされたPCで作成
して下さい。動画は使用できません。Macintosh及び持込PCでの発表はできま
せん。発表30分前までに、作成したデータをUSBフラッシュメモリーにてPC
受付にお持ち下さい。データのファイル名には演題番号(半角)に続けて発表
者の氏名(漢字)を必ず付けて下さい(例：10 秋田太郎.ppt)。不測の事態に
備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。
*スライドによる発表はできません。
- 演者ならびに共同演者は日本循環器学会の会員であることが必要です。非加入の方は入会
の手続きをおとり下さい。
- 特別講演は循環器学会教育セッション(3単位)を兼ねます(ただし、今回はランチョン
と併せて2時間出席のこと)。

追記：学会案内状、プログラムは原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。

第1会場

心筋症・弁膜症（9：00～9：35）

座長 加賀谷 豊

1 巨大な心室瘤を認めた心サルコイドーシスの一例

福島県立医科大学 第一内科 ○浅野 智之、鈴木 均、神山 美之
金城 貴士、山口 修、国井 浩行
石川 和信、矢尾板裕幸、石橋 敏幸
丸山 幸夫

2 両上下肢脱力により胸部殴打を機に発症した、たこつぼ心筋症の一例

秋田赤十字病院 循環器科 ○勝田 光明、照井 元、青木 勇
猪股 陽子

3 経過中、無脈性電気活動を来した心不全の一部検例

岩手県立中央病院 循環器科 ○腰山 宏、高橋 徹、近藤 正輝
三浦 正暢、湊谷 豊、花田 晃一
高橋 務子、八木 卓也、野崎 哲司
野崎 英二、田巻 健治

4 抗パーキンソン病薬（カベルゴリン）内服中止で心臓弁膜症が改善した一症例

仙台医療センター 循環器科 ○鈴木 景子、尾上 紀子、田中 光昭
馬場 恵夫、谷川 俊了、渡辺 力
篠崎 毅

5 冠動静脈瘤の破裂により心タンポナーデをきたした一例

平鹿総合病院 第二内科 ○相澤健太郎、武田 智、佐藤 貴子
遠藤 秀晃、深堀 耕平、伏見 悦子
高橋 俊明、関口 展代、林 雅人
同 心臓血管外科 加賀谷 聡、相田 弘秋

第1会場

心内膜炎・血栓症（9：35～10：03）

座長 長内 智宏

- 6 MD-CTが診断に有用であった、バルサルバ洞動脈瘤を来した感染性心内膜炎の一例
福島県立医科大学 第一内科 ○金城 貴士、中里 和彦、金子 博智
齋藤 修一、及川 雅啓、小林 淳
高野 真澄、矢尾板裕幸、石橋 敏幸
丸山 幸夫
- 7 Clostridium tertiumを起因菌とする感染性心内膜炎の一例
仙台市医療センター仙台オープン病院 ○三浦 裕、浪打 成人、杉江 正
王 文輝、加藤 敦、金澤 正晴
- 8 多発性塞栓症を生じた感染性心内膜炎の1例
岩手県立宮古病院 循環器科 ○門馬 大輔、中村 明浩、伊藤 俊一
後藤 淳、星 信夫
- 9 アンギオシールによる止血後5日目に急性動脈閉塞を生じた1例
秋田組合総合病院 循環器科 ○松岡 悟、新田 格、阿部 元
田村 芳一、齊藤 崇
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 伊藤 宏

第1会場

心不全（10：03～10：38）

座長 小丸 達也

10 ピタバスタチンは心機能を改善するか？

本荘第一病院 循環器科 ○鈴木 泰、金子 順二
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 伊藤 宏

11 安静心電図同期¹²³-I-MIBI(MIBI)心筋シンチグラフィを用いた左室拡張能評価

市立秋田総合病院 循環器科 ○中川 正康、藤原 敏弥、宗久 雅人
大楽 英明
きびら内科クリニック 鬼平 聡
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 伊藤 宏

12 女性心不全患者の予後予測因子の検討

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 ○小山 容、竹石 恭知、有本 貴範
新関 武史、野崎 直樹、広野 撰
渡邊 哲、二藤部丈司、角田 裕一
久保田 功

13 当院におけるCRT（cardiac resynchronization therapy）症例の検討

東北厚生年金病院 循環器センター 内科 ○三引 義明、菊田 寿、山口 濟
山中 多聞、菅原 重生、片平 美明
同 心臓血管外科 篠崎 滋

14 内服管理下に妊娠、出産し得た閉塞性肥大型心筋症の一例

秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 ○石田 大、小熊 康教、宗久 佳子
大場 貴喜、小山 崇、土佐 慎也
飯野 健二、小野 裕一、渡邊 博之
小坂 俊光、長谷川仁志、伊藤 宏

第1会場

虚血性心疾患 I (10:38~11:13)

座長 佐藤 匡也

- 15 電氣的除細動無効のVfに対してPCPS、IABP下でのPCIが有効であった急性心筋梗塞の一例

弘前大学 循環器・呼吸器・腎臓内科 ○横田 貴志、横山 仁、須藤 直行
樋熊 拓未、田村 有人、堀内 大輔
芦立 俊宗、加藤 千里、花田 裕之
長内 智宏、奥村 謙

- 16 ステント留置8年後にステント血栓症によると思われる急性心筋梗塞を発症した1例

寿泉堂総合病院 循環器科 ○岩谷 真人、鈴木 智人、湯浅 伸郎
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 伊藤 宏

- 17 当科におけるCypher Stentの使用成績と再狭窄例の検討

東北大学 循環器病態学分野 ○圓谷 隆治、越田 亮司、中山 雅晴
多田 博子、伊藤 健太、高橋 潤
安田 聡、柴 信行、小丸 達也
加賀谷 豊、下川 宏明

- 18 急性心筋梗塞の急性期マーカー、ビリルビン、バイオピリンの変化とその臓器局在

福島県立医科大学 第一内科 ○国井 浩行、石川 和信、丸山 幸夫
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 遺伝生化学部門
山口登喜夫
いわき市立総合磐城共立病院 循環器科 小松 宣夫、市原 利勝

- 19 有床診療所におけるdoor to balloon time

みやぎ東部循環器科 ○石丸 剛、菊地 雄一

第1会場

虚血性心疾患II (11:13~11:41)

座長 竹石 恭知

20 再灌流後ST上昇が遅延した急性心筋梗塞の1例

弘前大学 付属病院 ○横山 公章

21 CPAから蘇生し、ICD植え込みを施行した多発性冠攣縮性急性冠症候群の一例

東北厚生年金病院 循環器センター 循環器科

○山口 済、菊田 寿、亀山 剛義
山中 多聞、三引 義明、菅原 重生
片平 美明

22 高位起始を示した右冠動脈を責任病変とする急性心筋梗塞の1症例

山形県立日本海病院 内科循環器科 ○桐林 伸幸、宮本 卓也、池田真梨子
高橋 大、小熊 正樹

23 急性心筋梗塞を発症した巨大右冠動脈瘤の一例

福島県立医科大学 第一内科 ○及川 雅啓、高野 真澄、山口 修
中里 和彦、大杉 拓、小林 淳
石川 和信、矢尾板裕幸、石橋 敏幸
丸山 幸夫
済生会福島総合病院 循環器科 渡辺 正之

第1会場

虚血性心疾患Ⅲ（11：41～12：09）

座長 矢尾板 裕幸

24 急性心筋梗塞症（AMI）への静注血栓溶解療法（IVT）の有用性の検討

—direct PCI（d-PCI）との無作為化比較試験—

岩手医科大学 第二内科・循環器センター ○金矢 宣紀、伊藤 智範、小林 健
木村 琢巳、菅原、正磨、那須 和広
房崎 哲也、赤津 智也、新沼 廣幸
中村 元行

25 急性冠症候群様に発症した好酸球性心筋炎の一例

東北大学 循環器病態学分野 ○湊谷 豊、高橋 潤、中山 雅晴
遠藤 秀晃、菅井 義尚、若山 裕司
柴 信行、下川 宏明

26 当院におけるMDCTを用いた冠動脈造影CTによる冠動脈スクリーニングの現状

町立羽後病院 内科 ○安田 修、松田 健一、米川 力

27 当施設におけるマルチスライスCT（MSCT）による冠動脈病変の評価

山形大学 循環・呼吸・腎臓内科学分野 ○岩山 忠輝、二藤部丈司、青柳 拓郎
加藤 重彦、田村 晴俊、西山 悟史
角田 裕一、渡邊 哲、広野 撰
野崎 直樹、竹石 恭知、久保田 功

第2会場

肺高血圧、脳梗塞、横紋筋融解症（9：00～9：42）

座長 石橋 敏幸

28 肺高血圧症を伴った片側肺動脈無形成症の一症例

東北大学 循環器病態学 ○杉村宏一郎、及川美奈子、出町 順
福本 義弘、縄田 淳、佐藤 公雄
佐久間聖仁、下川 宏明

29 エンドセリン受容体拮抗薬によりエポプロステノール持続静注療法から離脱しえた特発性肺動脈高血圧症の一例

福島県立医科大学 第一内科 ○金城 貴士、中里 和彦、小林 淳
斎藤 修一、石川 和信、矢尾板裕幸
石橋 敏幸、丸山 幸夫
白河厚生総合病院 五十嵐盛雄、斎藤 富善

30 肺高血圧症に対するボセンタンの使用成績

東北大学 循環器病態学分野 ○縄田 淳、出町 順、福本 義弘
杉村宏一郎、佐藤 公雄、鈴木 潤
佐久間聖仁、下川 宏明

31 近位部肺動脈瘤を伴う特発性肺動脈性肺高血圧症の3例

東北大学 循環器病態学分野 ○出町 順、縄田 淳、杉村宏一郎
鈴木 潤、福本 義弘、佐藤 公雄
佐久間聖仁、白土 邦男、下川 宏明

32 脳梗塞急性期における血漿フィブリンモノマーの測定は長期再発イベントの予測に有用である

山形大学医学部 循環・呼吸・腎臓内科学分野

○田村 晴俊、広野 撰、西山 悟史
劉 凌、竹石 恭知、久保田 功
公立置賜総合病院 内科 奥山 英伸

33 筋肉運動後にCPK高値を示し部位診断に^{99m}Tc燐酸塩によるシンチグラフィーが有用だった横紋筋融解症の一例

青森県立中央病院 循環器科 ○會田 悦久、福士 智久、吉町 文暢
坂本 幸則、藤野 安弘

第2会場

外科的治療 I (9:42~10:10)

座長 山本 浩史

34 僧帽弁輪縫縮術が奏効した拡張型心筋症の一例

市立秋田総合病院 循環器科 ○宗久 雅人、中川 正康、藤原 敏弥
大楽 英明
同 心臓血管外科 星野 良平
中通総合病院 心臓血管外科 大内 真吾、神垣 佳幸、大久保 正
きびら内科クリニック 鬼平 聡
秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 伊藤 宏

35 僧帽弁形成術の早期中期成績について

福島県立医科大学医学部 心臓血管外科学講座
○佐藤 善之、佐戸川弘之、佐藤 洋一
高瀬 信弥、渡辺 俊樹、若松 大樹
黒澤 博之、村松 賢一、五十嵐 崇
籠島 彰人、横山 斉
同 循環器内科 高野 真澄、丸山 幸夫

36 右室梗塞と心タンポナーデを合併したValsalva洞動脈瘤破裂に対し、大動脈基部置換術にて救命し得た1例

東北厚生年金病院 ○篠崎 滋

37 大動脈縮窄症術後再狭窄に伴い、術後18年目にクモ膜下出血を発症した一例

脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 小児心臓外科
○森島 重弘、小野 隆志
同 小児・生涯心臓疾患研究所 中澤 誠
同 心臓血管外科 菅野 恵、緑川 博文、石川 和徳

第2会場

外科的治療Ⅱ（10：10～10：38）

座長 花田 裕之

38 肺胞内出血にて発症した再発性大動脈解離の一例

秋田大学 循環器・呼吸器内科学分野 ○土佐 慎也、渡邊 博之、宗久 佳子
飯野 健二、小坂 俊光、長谷川仁志
伊藤 宏

39 心不全を合併した重度大動脈弁狭窄に対し経皮的な大動脈弁形成術（PTAV）を行いAVRにもちこめた1例

坂総合病院 循環器科 ○佐々木伸也、小幡 篤、渡部 潔
渋谷 清貴

40 ARに伴う重症左心不全に対し、大動脈弁置換術、及び左室形成術（Overlapping法）が有効であった一例

福島県立医科大学医学部 心臓血管外科 ○籠島 彰人、佐戸川弘之、佐藤 洋一
高瀬 信弥、渡辺 俊樹、若松 大樹
佐藤 善之、黒澤 博之、村松 賢一
五十嵐 崇、横山 斉

41 大動脈瘤破裂症例の発症前状況調査（降圧治療状況、瘤の認識、喫煙状況）

脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 心臓血管外科

○菅野 恵、石川 和徳、緑川 博文

第2会場

不整脈Ⅰ (10:38~11:13)

座長 小松 隆

42 蕁麻疹の出現に伴い7秒の心停止を認めた神経調節性失神の1例

仙台市立病院 循環器科 ○佐藤 弘和、八木 哲夫、山科 順裕
住吉 剛忠、田淵 晴名、石田 明彦
滑川 明男
伊藤医院 伊藤 明一

43 ブルガダ型心電図における心室細動誘発性の検討

—加算平均心電図遅延電位と薬物負荷試験の有用性—

東北大学 循環器病態学分野 ○福田 浩二、熊谷 浩司、若山 裕司
菅井 義尚、藤田 央、下川 宏明

44 両心室ペーシングが有効であった拡張相肥大型心筋症の1例

東北大学 循環器病態学分野 ○藤田 央、若山 裕司、熊谷 浩司
福田 浩二、菅井 義尚、荻部 明彦
下川 宏明

仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

王 文輝

45 ICD植え込みにより突然死1次予防に成功した慢性心不全の1例

仙台医療センター ○日下 玄、尾上 紀子、田中 光昭
馬場 恵夫、谷川 俊了、渡邊 力
篠崎 毅

46 Focal Atrial Tachycardia 13症例の検討

仙台市立病院 循環器科 ○山科 順裕、八木 哲夫、石田 明彦
滑川 明男、田淵 晴名、住吉 剛忠
伊藤医院 伊藤 明一

第2会場

不整脈Ⅱ（11：13～11：48）

座長 熊谷 浩司

- 47 孤立性発作性心房細動例における抗不整脈薬療法の再発予防効果と症候性血栓塞栓症との関連

岩手医科大学 第二内科 ○佐藤 嘉洋、小松 隆、橘 英明
小澤 真人、中村 元行

- 48 右室流出路起源PVCのcatheter ablationにより短期間で心機能改善を認めたPVC-induced cardiomyopathyの一例

仙台循環器病センター 循環器科 ○藤森 完一、鈴木 太、福島 教照
南 雄一郎、小林 弘、藤井 真也
八木 勝宏、内田 達郎、廣澤弘七郎

- 49 大心静脈前心室中隔枝へ挿入した多電極カテーテルが起源の推定に有用だった症候性心室性期外収縮の1例

東北公済病院 循環器科 ○大友 淳、杉村 彰彦、福地 満正
東北大学 循環器病態学分野 若山 裕司、熊谷 浩司、下川 宏明

- 50 ICD頻回作動に対し緊急アブレーションを施行した陳旧性心筋梗塞後心室頻拍の1例

仙台市立病院 循環器科 ○小川 佳子、石田 明彦、八木 哲夫
山科 順裕、田淵 晴名、住吉 剛忠
滑川 明男
伊藤医院 伊藤 明一

- 51 不整脈源性右室心筋症に対しカテーテルアブレーションを施行した一例

仙台市立病院 ○住吉 剛忠、八木 哲夫、石田 明彦
滑川 明男、田淵 晴名、山科 順裕
小川 佳子、佐藤 弘和
伊藤医院 伊藤 明一

第2会場

不整脈Ⅲ（11：48～12：16）

座長 阿部 芳久

- 52 左室前側壁起源の副収縮性心室性期外収縮に対して高周波カテーテルアブレーションが有効であった1例
岩手医科大学 第二内科 ○橘 英明、小松 隆、佐藤 嘉洋
小澤 真人、中村 元行
- 53 薬剤抵抗性の左心室瘤起源心室頻拍にアブレーションが奏功した1例
東北大学 循環器病態学分野 ○熊谷 浩司、若山 裕司、福田 浩二
菅井 義尚、下川 宏明
- 54 左後中隔副伝導路の焼灼にmulti-directional catheterが有用だったmultifiberを有する潜在性WPW症候群の1例
東北公済病院 循環器科 ○大友 淳、杉村 彰彦、福地 満正
東北大学 循環器病態学分野 菅井 義尚、熊谷 浩司、下川 宏明
- 55 右房後壁のcritical channel同定にCARTO systemが有効であった非通常型心房粗動の1例
弘前大学 循環器・呼吸器・腎臓内科 ○木村 正臣、岩佐 篤、佐々木真吾
小林 孝男、堀内 大輔、奥村 謙

午後の部

12:00~12:30 評議員会（8階 第一研修室）

12:30~13:30 ランチョンセミナー（第1会場）

座長 秋田大学医学部内科学講座
循環器内科学分野・呼吸器内科学分野 教授 伊藤 宏 先生

「2005年ACC/AHA慢性心不全診療ガイドラインを
日本人の心不全診療にどう生かすか？」

東京女子医科大学附属青山病院 病院長 循環器科教授 川名 正敏 先生

共催 第142回日本循環器学会東北地方会
万有製薬株式会社

13:30~13:45 総 会（第1会場）

13:45~14:45 特別講演（第1会場）

座長 秋田大学医学部内科学講座
循環器内科学分野・呼吸器内科学分野 教授 伊藤 宏 先生

「心血管病に対する先端医療の開発」

東北大学大学院医学系研究科循環器病態学 教授 下川 宏明 先生

第6回日本循環器学会東北支部AHA ACLS Provider Course

<http://www.eccjp.net/>

開催日：平成18年6月10日(土)～11日(日)の2日間

(日循東北地方会は6月11日(土)のみです)

開催時間：10日は午後1時～午後7時、11日は午前9時～午後5時の予定

会場：岩手医科大学 この花会館 (日循東北地方会会場と近くですが、異なります)

受講者：20名 (上記ホームページから受け付けます)

受講資格：AHA BLS for Health Care Provider CourseをACLS Courseまでに受講済みであること

見学者：随時受け付けいたします (時間によっては人数制限があります)

受講料：日循学会員 23,000円 (日本循環器学会より補助があるため)

非会員 38,000円

コースディレクター：獨協医科大学 心血管・肺内科 菊地 研

コースコーディネーター：岩手医科大学 高度救命救急センター 及川 浩平

2003年夏に、日本循環器学会の心肺蘇生法普及委員会から「Chain of Survival (救命の連鎖)」の確立を訴えた提言がなされ、学会として以下の目標を掲げています (<http://www.j-circ.or.jp/shinpaisosei/index.htm> 参照)。

1. 会員全員が心肺蘇生法トレーニングを受け、医師、コメディカル、一般市民に対する指導者となる。具体的には、地方会や都道府県単位でトレーニングコースを開催し、指導者養成を図る。
2. 循環器専門医は、標準的な二次救命処置 (Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS) を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーとなる。
3. 米国心臓協会 (AHA) 認定の心肺蘇生法トレーニングコースを日本蘇生協議会 (JRC) 参加関連学会とともに開催し、認定する。

この提言に基づいて、日本循環器学会からの財政的支援も行われ、地方会毎にACLSコースが開催されています。日本循環器学会地方会の中では、東北地方会は、いち早くAHA ACLS Provider Courseを取り入れました。今回のACLSコースも、日循認定コースであると同時に、AHAの正規認定コースでもあります。

AHA ACLS providerコースは、実習中心のコースとなっています。心肺停止例への心肺蘇生法や救命処置だけでなく、心肺停止へ陥る危険性の高い病態や不整脈への治療が含まれています。日本語で講習いたしますが、試験問題、スライド、教科書の一部は英語となっています。AHA認定コースですので、修了時にはAHAのACLS providerカードが授与されます。そして、AHA ACLS provider courseを優秀な成績で修了された方は、別途予定されるAHA ACLS Instructor courseへの推薦の対象となりますので、AHA

ACLS Instructorとして御指導いただける道が開かれています。また、日循認定コースとして、修了時に日循認定コースの修了証と循環器専門医へは10単位が付与されます。なお、今回のコースはガイドライン2000に基づいて行います。

近い将来、日本循環器学会専門医にAHA ACLS provider courseが必修化されます。今年の3月の日本循環器学会理事会で承認されました。循環器専門医試験をこれから受験しようと思っている方は受験するときに必要になってきますし、すでに専門医の資格を持っている方も5年毎に専門医の更新をするときに必要になってきます。

日本循環器学会はこのAHA ACLS provider courseを日本各地域へ広めていく予定ですので、皆様にはこの普及へのご賛同とご協力をいただきたいと思います。お待ちしております。

日本循環器学会東北支部部則

1. 名 称

本支部は日本循環器学会東北支部と称する。（「地方会」より「支部」へ名称変更→平成15年3月改正）

2. 目 的

本支部は日本循環器学会の目的に協力し、本支部における循環器学の進歩と普及発展を期し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

3. 事 業

本支部は原則として年2回の学術集会を開催し、その他本支部の目的達成上必要な事業を行う。

4. 学術集会

学術集会に演題を提出するものは日本循環器学会に入会しなければならない。学術集会の記事は日本循環器学会誌に掲載する。

5. 支 部 員

本支部は日本循環器学会会員であって東北地方に在住する者および支部評議会において承認された者をもって組織する。

支部員は支部費を納める。

6. 名誉支部員

本支部評議会は本支部の発展に多年功労のあった支部員を名誉支部員として推薦することができる。ただし本人の承諾をうけるものとする。

名誉支部員は会費の納入を免除される。

7. 支 部 長

本支部に支部長を1名おく。

支部長は支部評議員会の互選により定める。

支部長は本支部を代表する。

8. 支部評議員

本支部に支部評議員をおく。

支部評議員は本地方の日本循環器学会評議員およびその推薦により選出された各県若干の本支部部員をもってあてる。

支部評議員は本支部の運営にあたる。

支部評議員のうち2名を会計監事とし、支部長はこれを委嘱する。

9. 支部評議員会

原則として学術集会の機会に定例支部評議員会（以下「評議員会」と略す。）を開き会務を審議する。

支部長は必要に応じ臨時に評議員会を開催できる。

評議員会は支部員の中から幹事を委嘱し、本支部の日常業務を分掌させることができる。

10. 総 会

年1回原則としてその年度の最初の学術集会の際に総会を開く。

議会の議長には支部長の指名した評議員があたる。

評議員会が必要と認めたときには臨時総会を開くことができる。

11. 役員任期

支部長および支部評議員の任期は4年とし、再選はさまたげない。

役員に欠員を生じた場合は速やかに補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

12. 会 計

本支部の会計年度は毎年4月1日からはじまり翌年3月31日におわる。

本支部の経費は、部費、各種補助金および寄付金をもってあてる。

13. 部則の変更

本部則の変更は評議員会の議を経て総会の出席者の3分の2以上の賛成を要する。

14. 付 則

① 本支部の事務室は当分の間、東北大学大学院循環器病態学におく。

② 年間部費は個人部費2,000円とし、本部より一括徴収となる。

日本循環器学会東北支部役員

支 部 長 奥 村 謙
 理 事 奥 村 謙
 名誉特別会員 平 則 夫 三 浦 傅

評議員（各県ごと五十音順、○印は全国評議員）

青 森	虻 川 輝 夫	○奥 村 謙	長 内 智 宏
	小野寺 庚 午	金 沢 武 道	高 松 滋
	福 田 幾 夫	藤 野 安 弘	三 国 谷 淳
	元 村 成	盛 英 機	保 嶋 実
岩 手	青 木 英 彦	○上 嶋 健 治	川 副 浩 平
	佐 藤 昇 一	瀬 川 郁 夫	高 橋 恒 男
	田 卷 健 治	中 村 元 行	那 須 雅 孝
	平 盛 勝 彦	茂 木 格	西 城 精 一
秋 田	阿 部 豊 彦	○伊 藤 宏	○小 野 幸 彦
	門 脇 謙	小 林 政 雄	○齐 藤 崇
	佐々木 弥	佐 藤 匡 也	鈴 木 泰
	田 村 芳 一	長谷川 仁 志	林 雅 人
	松 岡 一 志	山 本 文 雄	
山 形	芦 川 紘 一	荒 木 隆 夫	○遠 藤 政 夫
	大 友 尚	小 熊 正 樹	小 田 純 士
	金 谷 透	○久保田 功	今 野 淳
	斎 藤 公 男	貞 弘 光 章	鳥 崎 靖 久
	○竹 石 恭 知	福 井 昭 男	八 卷 通 安
	横 山 紘 一		

宮 城	阿 部 圭 志	石 出 信 正	伊 藤 明 一
	○伊 藤 貞 嘉	磯 山 正 玄	猪 岡 英 二
	今 井 潤	加 賀 谷 豊	金 澤 正 晴
	香 川 謙	小 岩 喜 郎	上 月 正 博
	佐 久 間 聖 仁	佐 藤 靖 史	下 川 宏 明
	○白 土 邦 男	平 則 夫	田 林 暁 一
	田 中 元 直	立 木 楷	仁 田 新 一
	布 川 徹 平	三 浦 幸 雄	目 黒 泰 一 郎
	毛 利 平 完	柳 沢 輝 行	山 家 智 之
	金 塚		

福 島	青 木 孝 直	石 川 和 信	○石 橋 敏 幸
	池 田 精 宏	市 原 利 勝	大 和 田 憲 司
	木 島 幹 博	津 田 福 視	羽 根 田 隆 夫
	福 地 総 逸	星 野 俊 一	○丸 山 幸 夫
	○前 原 和 平	室 井 秀 一	矢 尾 板 裕 幸
	横 山 齐	渡 辺 毅	

名譽支部員	堀 内 藤 吾	水 野 成 徳	鈴 木 典 夫
	小 野 一 男	吉 永 馨	宮 澤 光 瑞

会 計 監 事	阿 部 圭 志	田 中 元 直
---------	---------	---------

幹 事	小 丸 達 也	柴 信 行	荻 部 明 彦
-----	---------	-------	---------